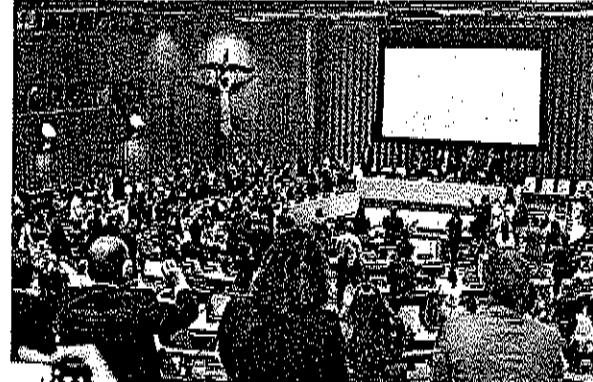


# 実効性・規範力を高める核禁条約 第2回締約国会議が閉幕

政治宣言を採択



核兵器禁止条約第2回締約国会議の成功を喜び、握手をおくる外交官や市民ら（石井みづほ撮影）

米ヨーローク＝島田峰蔵  
日本による核兵器使用の威嚇などに触れ、「核兵器は平和と安全を守ることのか、強制、脅迫、緊張激化の政策手段として使われている」批判。「核抑止の永続化と実践は不拡散をむしぼて、「核兵器問題での重大な問題が開かれた」ことを受けた。会議が開幕したのを受け、志位委員長が「核兵器問題での重大な問題を一つ強化し」と述べました。

フアン・モラフロン大統領（メキシコ）は開幕演説で「政治宣誓は今の時期に切望されていて強力なメッセージになら」「より安全な世界を実現する唯一の方法は核兵器の禁止だ」と強調。「会議での意見交換は私たちの確信を強化し、禁止条約の実現に向けて前進することを可能にした」と述べました。

## 会議の成功を歓迎する

### 志位委員長が談話

日本共産党中央委員会の志位和夫は、「核兵器の禁止と実現化のため、開催されたこの会議が開幕したのを受け、志位委員長が「核兵器問題での重大な問題を一つ強化し」と述べました。

志位氏は談話で、「政治宣

言は「核兵器使用の破壊的な人道的結果への深刻な懸念」を再確認。核兵器の非人道性が「核軍縮の核兵器のない世界の達成・維持の道徳的、倫理的な責務の土台だ」とし、非人道性の議論を深める意図を示しました。

会議には89ある締約国の大半が参加して、そのために「国際信託基金」の設立を目指すガイドライン策定など、国際法としての実効性・規範力を高めてくることの重

大さな規範力を發揮するこ

とを示すものだとのべきま

た。

まだ、米大統領のものも「ノルマ」が失望と批判を広げていることを指摘。オバマ大統領は日本政府の不正と核抑止を痛烈に批判したことなどを指摘。次回会議まで「抑止力」論からの脱却を訴える報告書を作成す

ることを決めたことがなじみあげ、禁止条約が核使用の規範力を高めることをめざして、開いたと決意しました。

日本政府が禁止条約に参加するよう強く求めました。

【】パリ—クラーク島田峰蔵】米ヨーロークの国連本部で開かれていた核兵器禁止条約第2回締約国会議は一日、核抑止論について不拡散や核軍縮に対する厳しく批判し、禁止条約未参加国に署名や批准を呼び掛けた政治宣誓を採択して閉幕しました。

→ 関連206面

【】パリ—クラーク島田峰蔵】米ヨーロークの国

会議は昨年の第一回締約

国会議以降に参加国が増えたことを歓迎し、未参加の国々に「連携ない署名・批准する」より改めて呼び掛けました。

ファン・モラフロン大統領（メキシコ）は開幕演説で、「政治宣誓は今の時期に切望されている強力なメッセージになら」「より安全な世界を実現する唯一の方法は核兵器の禁止だ」と強調。「会議での意見交換は私たちの確信を強化し、禁止条約の実現に向けて前進することを可能にした」と述べました。

真言は、「核兵器使用の破壊的な人道的結果への深刻な懸念」を再確認。核兵器の非人道性が「核軍縮の核兵器のない世界の達成・維持の道徳的、倫理的な責務の土台だ」とし、非人道性の議論を深める意図を示しました。

会議には89ある締約国の大半が参加して、そのために「国際信託基金」の設立を目指すガイドライン策定など、国際法としての実効性・規範力を高めてくることの重

大さな規範力を発揮するこ

とを示すものだとのべきました。

日本原水爆被爆者団体協会（日本被爆協）の代表が被爆証言を行ったほか、

日本政府が禁止条約に参加するよう強く求めました。

日本原水爆被爆者団体協会（日本被爆協）の代表が被爆証言を行ったほか、

日本政府が禁止条約に参加するよう強く求めました。